

ファニチャーリノリウムのメンテナンスガイド

ファニチャーリノリウムは、全て自然の素材から作られたリノリウム家具用表面仕上げ材です。

仕 様	成分は亜麻仁油・松ヤニ・石灰・木粉・天然色素 厚みは 2 mm、裏打ち材としてフェルト紙を使用
特 性	耐久性と同時にすぐれた耐光性があります。 静電気を逃がす働きあり、ホコリが溜まりにくいです。
難燃性	際立った難燃性があり、タバコの灰が落ちても燃えません。
抗菌効果	表面に付着したバクテリア等は 99%が 24 時間以内に不活化します。
色 彩	薄い色は汚れが目立ちやすいのでメンテナンスにご注意下さい。 経年変化により表面がわずかに変色する場合があります。

【ク リ ー ニ ン グ】

ファニチャーリノリウムは製造工場にて表面仕上げ剤が施されている為、使用前のお手入れは必要ありません。使用中のクリーニングとメンテナンスも簡単です。

毎日のお手入れ

きれいな乾いた布で拭くか、固く絞った濡れ雑巾で拭いた後すぐに乾いた布で拭いてください。

汚れた場合のお手入れ

特に汚れている部分は、薄めた石鹼水か希釈した中性洗剤にタオルを浸し固く絞って汚れを拭き取って下さい。汚れを落とした後は、乾いたきれいな布にて拭上げてください。

シミはアルコールを使用し除去する事が出来ますが、少しずつ慎重に行ってください。アルコールは可燃性ですので取扱いに注意し換気をして下さい。

大規模なお手入れ

1. 水に薄めた中性洗剤をファニチャーリノリウム全体に濡らしてください。
2. 表面を湿らしたまま約 5 分放置し、その後表面を家庭用メラミンスポンジ等で表面を洗浄してください。
3. 水きりベラにて表面の汚水を除去し、残りの汚水を乾いた布でふき取ります（目地や木口などから水分が裏に回らないよう注意してください）。
4. 水をつけたメラミンスポンジで表面を優しくなで、残った汚水を完全に除去してください。

5. もう一度水きりベラを用いて汚水を取り除き、残った汚水を乾いた布でふき取り完全に乾燥させてください。
6. 必要に応じて、新たな仕上げ塗りとして水 1 対 1 に希釈した中性水性ワックス*¹を薄く 1 層塗布してください。2 層目の塗布は 1 層目が完全に乾燥してから 1 層目に対して直角方向に塗布して下さい。
(*1) 中性のワックスは、シーバイエス社の「グリーンプラス・ワックス EX」等があります。pH5~9 のものを使用してください。

【メンテナンスの注意点】

強アルカリ性タイプ（pH 値 9 以上）の洗剤は使用しないで下さい。セルローズ・シンナーやアセトン等の溶剤系、塩素を含んだ製品の使用はしないでください。またファニチャーリノリウムの表面に、オイルや亜麻仁油を塗らないで下さい。

こぼれたコーヒー・紅茶・アルコールは、早めに拭き取ってください。放置すると、染み込む場合がありますのでご注意ください。濡れた植木鉢や花瓶、こぼれた水などは水垢が残る恐れがあります。保護マットを使用して下さい。

【簡単な補修方法】

細かな傷がついた場合には、市販されている胡桃を使って傷を補修することもできます。

【製品特性上の注意】

リノリウムは天然の材料からシート状製造され、製品安定の為、3~4 週間、乾燥室と呼ばれる巨大な部屋で熟成されます。その際、亜麻仁油の黄色味が表面に現れ、「乾燥室フィルム」と呼ばれます。乾燥室フィルムは名称であって本当にフィルムがあるわけではありません。光を照射するとその品質や質量に変化なく消滅し、リノリウム本来の色、すなわち製造段階で製作した色に戻ります。この現象を「乾燥室フィルム現象」と呼んでいます。変色ではありません。

乾燥室フィルムは使用中も 1~3 ヶ月の長期間光から遮断されている部分に発生します。例えば、書類トレイをファニチャーリノリウムの上に 1~3 ヶ月間放置すると書類トレイの形と同様の黄色っぽい部分が現れます。

これは日焼けでも変色でもありませんので、洗剤をつけて擦っても落ちません。これが乾燥室フィルムです。この部分をまた光が常時当たるようになると必ず消滅し他の部分と同じになります。この乾燥室フィルム現象は製品を使用している間ずっと繰り返し起こります。これはリノリウムだけにある特徴ですので注意が必要です。

*その他不明な点は、販売元にお問い合わせください。

furniture linoleum ファニチャーリノリウムメンテナンス

ファニチャーリノリウム メンテナンス方法

ファニチャーリノリウムは、柔らかい質感と表情で知られるユニークな表面材です。

耐久性に優れ、お手入れも簡単で、長年にわたって高品質なパフォーマンスを発揮します。

ファニチャーリノリウムは静電気を帯びないため、埃を寄せ付けません。

また 指紋やインク、食べこぼしなどにも強く、普段のお手入れは布やスポンジで拭くだけの簡単な作業です。

推奨されるクリーニング方法を必ず読み、それに従ってください。

特殊なクリーナーを使用する場合は、必ずラベルをすべて読み、メーカーが推奨する方法に従ってください。

定期清掃

清潔で湿らせた布またはスポンジで表面を拭き、必要であれば中性洗剤を使用します。クリーナーを塗布して拭き取ります。中性洗剤を塗布したまま乾燥させないでください。定期的にぬるま湯で十分にすすぎ、水分を拭き取ってください。こぼれたものはすぐに拭き取ってください。

染みが発生することがあります。その場合は、柔らかいブラシと中性洗剤を使用し、必要に応じて繰り返して汚れを落とす必要があります。頑固な汚れは、これらの洗浄方法に抵抗するため、より強力な洗剤を使用する必要がある場合があります。その他の推奨事項については、フォルボにお問い合わせください。

表面や素材の色に永久的な損傷を与えないようにするためです。

予防策と染み抜き

- ・ 鋭利なものはキズの原因になりますので、疑わしい場合は保護材をご使用ください。
- ・ インク、コーヒー、紅茶、赤ワインなどをこぼした場合は、すぐに汚れを落としてください。
- ・ 植木鉢、花瓶、コップなどの下に保護材を敷いて、傷や汚れが付かないよう気を付けてください。
- ・ インク、鉛筆、クレヨンなどの頑固な汚れ、ステッカー、接着剤、テープの残りなどの粘着性のある汚れには、清潔な布かスポンジを使用してください。その後必ずすすぎと乾燥を行い、必要に応じて繰り返してください。
- ・ 漂白剤、アセトン、酸、研磨剤、排水管洗浄剤、染料（毛髪、繊維、食品）、台所用洗剤などの化学物質に長時間さらされた場合、洗剤、サビ取り剤、便器用洗剤は、表面を永久的に損傷する可能性があります。こぼしたものはすぐに拭き取り、中性洗剤で洗い、水で数回すすいでください。
- ・ オープンやバーナーから出した鍋や食器、熱を発する器具（電気スキレットなど）は、直接ファニチャーリノリウムの上に置かないでください。表面を保護するために、必ずホットパッドやトリベットを使用してください。
- ・ スチールウールパッドをファニチャーリノリウムの上に保管しないでください。金属が錆びて染みになる恐れがあります。



使用してはいけないクリーナー

これらのクリーナーを長時間使用すると、永久的な損傷や変色の原因となることがあります。

- ・アセトン
- ・ガラスクリーナー
- ・金属用クリーナー
- ・イソプロピルアルコール
- ・研磨剤入りクリーナーやブラシは使用しないでください。
- ・石鹼（pH 値 9 以上）

ファニチャーリノリウムのクリーニングには、次の成分を含む製品を使用しないでください。

- ・塩酸、塩化水素
- ・硫酸、オレイン酸、ビトリオール油
- ・弗化水素酸、磷酸、錆び取り剤
- ・水酸化ナトリウム、苛性ソーダ、苛性ソーダ灰汁又は苛性ソーダ灰汁
- ・軽石研磨クリーナー

修復

修復が必要な損傷がある場合は、修復の手順を開始する前にフォルボに連絡して推奨事項を確認してください。